

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	環境に配慮したまちづくり						
施策 No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築						
主管課名	生活環境課								
関係課名	企画政策課、都市計画課、農林水産課								
10年後の目指す姿	地球温暖化防止対策やごみの適正処理・減量化及び資源物の再利用が進んでいます。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づく、地球温暖化防止対策事業を実施するとともに、「グリーン購入調達方針」に基づく、環境に配慮した物品調達等に努めています。</li> <li>・地元住民の要望を聴取しながら、市民バスや富山地方鉄道の市内路線バスの利用促進に向けた対策を実施しています。</li> </ul>							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止対策として二酸化炭素の大幅な削減をはじめ、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、省エネルギー化や再生可能エネルギーへの転換、森林の保全や整備に市が率先して取り組まなければなりません。</li> <li>・再利用できるものがごみとして排出されたり、過剰包装などにより多くのごみが排出されているので、ごみの減量化に向けて4R活動の推進を図る必要があります。</li> <li>・不適正なごみ処理に起因する処理施設火災等の発生や、富山湾沿岸への海洋ごみ流出・不法投棄が問題となっているため、ごみを適正に分別処理するよう啓発活動を行う必要があります。</li> </ul>							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーの取組推進の啓発や支援を行うとともに、公共施設の省エネルギー化、創エネルギー化に率先して取り組みます。</li> <li>・4R活動(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ)が全家庭に浸透し実践されるよう、普及啓発活動を行います。</li> <li>・効率的かつ適正にごみの収集・運搬・処理を行うとともに、資源物が効率的かつ適切に回収されるよう収集・運搬体制等を整備します。</li> <li>・公共交通機関の利便性向上と利用のPRIに取り組みます。</li> </ul>							
	市 民 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低炭素社会の形成に向けた生活様式や環境に配慮した行動を行います。</li> <li>・適正なごみの分別を行います。</li> <li>・積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。</li> <li>・4R活動に取り組みます。</li> </ul>							
目指す姿の実現のための取組 (基本事業)	基本事業①	温室効果ガス削減対策							
	基本事業②	廃棄物の適正処理・4R活動の推進							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	9 (8)	9 (8)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (1)	2 (1)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	7 (7)	7 (7)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	267,172	284,351				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	10,392	16,609				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	256,780	267,742				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	16	17					
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	6,440	5,940					
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	25,264	23,023					
F. トータルコスト（B+E）		千円	292,436	307,374					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費（定義式：B/人口）		円	6,601	7,123				
	同 上								
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	624	577				
同 上									
I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	7,225	7,700					
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口（各年度12月末時点）		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
基本事業名	①温室効果ガス削減対策		
基本事業の目的(意図)	省エネルギー意識の高揚と対策を促進し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進するとともに、森林の保全・整備及び公共交通の利用促進を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【地球温暖化対策実行計画推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境省の補助事業を活用し、市内の再生可能エネルギー発電施設の整備に向けた調査を実施するとともに、市内のステークホルダーで組織する協議会で、2050年のゼロカーボンシティ達成に向けた計画(区域施策編)の協議を行い、計画を策定しました。</li> <li>「第4次地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づく地球温暖化対策を実施しました。</li> <li>エネルギーの価格高騰による一般家庭の費用負担を軽減するため、省エネ性能の高い家電等への買換えを支援しました。</li> </ul> <p>【公共交通対策事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒部宇奈月温泉駅と魚津市内を結ぶ「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」(魚津タクシー協会運行)の運行に対する支援を行いました。</li> <li>コロナ禍での利用者減少に加え、燃料費の高騰に苦しむ鉄道事業者2社(あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道)、バス運行业者(富山地方鉄道)、市内タクシー2事業者(魚津交通、金閣自動車商会)に対して、支援金を交付しました。</li> </ul> <p>【魚津市民バス運行业者】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚津市民バスの利用促進の一環として、富山地方鉄道株式会社や近隣自治体とともに、「親子でおでかけ事業」を実施しました。また、未来の公共交通を支える子どもたちにバスを身近に感じていただくことを目的とし、バスを題材にしたポスターを募集し、最優秀作品2点を上野方ルート、松倉ルートの新車両にそれぞれラッピングしました。</li> </ul> <p>【水と緑の森づくり事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人家、耕地周辺などの里山林(モウソウ竹林含む。)や小規模な風雪被害林などで、整備及び管理並びに利用について、地域の合意形成が図られている森林を対象として地域や生活に密着した里山の再生整備を実施しました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
市管理施設のCO2排出量	t-CO2	8,183	7,063	8,020 7,258	7,940 6,988	7,861	7,782	7,704	7,326
市民一人あたりの市民バス利用回数 (市民バス利用者数)	回	3.22	2.76	3.27 2.93	3.31 3.00	3.35	3.39	3.43	3.56
	人	133,698	113,038	133,000 118,421	133,500 119,101	134,000	134,500	135,000	135,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ ゼロカーボンシティ推進事業	17,064,000	9,001,330	8,062,670	B	企画政策課
2	一般会計	○ 地球温暖化対策実行計画推進事業	7,709,100	7,608,088	101,012	A	生活環境課
3	一般会計	環境基本計画推進事業(施策7①再掲)	(151,000)	(33,870)	(117,130)	-	生活環境課
4	一般会計	○ 水と緑の森づくり事業(施策7①再掲)	(6,716,000)	(6,243,000)	(473,000)	A	農林水産課
5	一般会計	○ 公共交通対策事業(施策35①再掲)	(46,617,379)	(41,005,854)	(5,611,525)	A	都市計画課
6	一般会計	○ 魚津市民バス運行业者(施策35②再掲)	(86,359,021)	(84,474,664)	(1,884,357)	A	都市計画課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			24,773,100	16,609,418	8,163,682		

基本事業概要シート②

施策 No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
基本事業名	②廃棄物の適正処理・4R活動の推進		
基本事業の目的(意図)	廃棄物の分別の徹底を図り、ごみの減量化と適正処理及び資源物の回収とリサイクルの推進に努めます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【一般廃棄物収集運搬事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般家庭から出されるごみ(もやせるごみ、もやせないごみ、金属粗大ごみ等)を適切に収集、処理施設への運搬を行いました。また、地区等で行われた清掃ボランティア活動により回収されたごみ等の収集、運搬を行いました。</li> <li>・不法投棄された廃棄物(一般及び産廃:投棄者が特定できない場合)を迅速、適正に処理しました。(R2:9日、R3:10日、R4:6日)</li> </ul> <p>【資源物収集運搬管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区等の資源物ステーション及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を適切に収集、中間処理を行い、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。(資源物収集量 R2:1,905t、R3:1,935t、R4:1,906t)</li> </ul> <p>【資源物集団回収推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物を回収し、再生資源回収事業者へ引き渡した団体に対し、引渡し量に応じて報奨金(2.5円/kg)を交付しました。(R2:35団体222t、R3:37団体295t、R4:33団体248t)</li> </ul> <p>【ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業】(補助率1/3、上限5万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化等の促進のため、ごみ集積場若しくは資源物集積場を新設する町内会へ費用の一部を助成しました。(R2:4件157千円、R3:3件148千円、R4:3件147千円)</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
市民一人1日あたりのごみ排出量	g	847.8	829.3	831 827.0	823 817.6	814	806	798	759
資源化率	%	18.8	18.1	19.0 18.8	19.1 19.2	19.2	19.3	19.4	19.9

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	環境衛生推進事業	2,196,000	1,863,086	332,914	-	生活環境課
2	一般会計	○ 一般廃棄物収集運搬事業	206,723,860	205,725,488	998,372	B	生活環境課
3	一般会計	ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業	197,440	147,000	50,440	-	生活環境課
4	一般会計	し尿収集事業	22,099,000	21,890,257	208,743	-	生活環境課
5	一般会計	処理困難物収集運搬処理業務(不法投棄廃棄物処理事業)	420,000	129,900	290,100	-	生活環境課
6	一般会計	○ 資源物集団回収推進事業	1,238,000	654,656	583,344	B	生活環境課
7	一般会計	○ 資源物収集運搬管理事業	37,719,560	37,332,022	387,538	B	生活環境課
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			270,593,860	267,742,409	2,851,451		

施策 No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<b>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景</b> (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p><b>【①温室効果ガス削減対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地球温暖化が一因と考えられる異常気象等が地球規模で発生しており、温室効果ガスのCO2排出量の削減等が国際的に求められています。</li> <li>◆「グリーン購入調達方針」に基づく、グリーン購入適合品の調達は、目標値100%のところ令和4年度は68.0%で前年度より7.6%増加しています。</li> <li>◆魚津市民バスについては、市街地巡回ルート及び郊外型6ルートが運行され、平成26年度以降の利用者数は減少傾向にあったものの、平成30年度は、中学生及び高校生の乗車料金を1乗車100円とした効果もあり、年間利用者は増加に転じました。令和4年度は令和3年度に引き続き、前年比では利用者数が増加したものの、コロナ前(令和元年度費)比9.4%減と、減少傾向が続いています。一方、鉄道については、富山地方鉄道線の乗降客数(市内4駅合計)は平成29年度から2年連続で増加しましたが、その後は減少傾向が続いています。また、あいの風とやま鉄道線は、平成27年3月のJRからの経営譲渡時に特急電車が廃止された影響で利用者が減少し、以降減少傾向が続いています。新型コロナウイルスの影響により、令和3年度はコロナ前(令和元年度)と比べ、富山地方鉄道線は20.9%減、あいの風とやま鉄道線は2.1%減と、一部で回復傾向が見られるものの、依然として減少傾向が続いています。</li> </ul> <p><b>【②廃棄物の適正処理・4R活動の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「もやせるごみ」については、全体的に減少しました。(家庭系 R3:6,662t→R4:6,484t)(事業系 R3:3,287t→R4:3,303t)(計 R3:9,949t→R4:9,787t)</li> <li>◆「もやせないごみ」についても、全体的に減少しました。(家庭系 R3:1,684t→R4:1,563t)(事業系 R3:651t→R4:606t)(計 R3:2,335t→R4:2,169t)</li> <li>◆排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量は、R元年度以降増加傾向にありましたが、令和3年度以降は再び減少に転じました。(R元:565.5g→R2:571.4g→R3:561.9g→R4:550.2g)</li> <li>◆資源物の全体収集量は、平成28年度から減少傾向にあります。(R元:1,998t→R2:1,905t→R3:1,935t→R4:1,906t)</li> <li>◆分別リサイクル率(資源物収集量 * kg / (家庭ごみ * kg + 資源物収集量 * kg))は、近年18%台で推移していましたが、令和4年度は0.4%増加し、19%台となりました。(R元:18.8%→R2:18.1%→R3:18.8%→R4:19.2%)</li> <li>◆常設資源物ステーションは6箇所で開催しており、その収集量は近年1,600t前後で推移しています。</li> <li>◆地区資源物ステーションは146箇所あり、収集量は近年減少傾向にありましたが、令和4年度は16.3%増の29.5tでした。</li> <li>◆集団回収による資源物収集量は、近年減少傾向にあります。令和4年度の収集量は248tで前年度比15.1%減となっています。</li> <li>◆平成23年9月から実施した「使用済み小型家電回収ステーション」の回収量については、平成30年度までは40t前後で推移していましたが、令和元年度は70t台、令和2年度以降は60t前後で推移しています。(R元:71.9t→R2:62.2t→R3:60.4t→R4:56.9t)</li> </ul>		
	<b>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括</b> (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p><b>【①温室効果ガス削減対策】</b></p> <p>＜地球温暖化対策実行計画推進事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境省の補助事業を活用し、市内の再生可能エネルギー発電施設の整備に向けた調査を実施するとともに、市内のステークホルダーで組織する協議会で、2050年のゼロカーボンシティ達成に向けた計画(区域施策編)の協議を行い、計画を策定しました。</li> <li>◆第4次地球温暖化防止魚津市役所実行計画に基づき地球温暖化対策を実施することで、温室効果ガスの排出を削減することができました。</li> </ul> <p>＜公共交通対策事業＞(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域のバス利用促進協議会とともに、各ルートの魚津駅等での電車と魚津市民バス等の接続へ配慮したダイヤづくりを行ったほか、市民バス時刻表への地铁バス・電車等の時刻の掲載を行うことにより、市内の公共交通を網羅したダイヤ・ルートの提供ができました。</li> </ul> <p>＜水と緑の森づくり事業＞(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市内10地区、8.1haの里山について整備を行うことにより、大気中の二酸化炭素吸収が促進されました。</li> </ul> <p><b>【②廃棄物の適正処理・4R活動の推進】</b></p> <p>＜一般廃棄物収集運搬事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量は、R元年度以降増加傾向にありましたが、令和3年度は再び減少に転じました。広報等による適正分別の周知の結果、廃棄物の減量化につながりました。</li> </ul>			
<b>3. 施策の課題認識及び取り組み状況</b> (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p><b>【①温室効果ガス削減対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ゼロカーボンシティ達成に向け、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、各種事業を推進していきます。</li> <li>◆再生可能エネルギーの導入に向けた小水力発電や太陽光発電の設置に関する調査やEV車両の導入などの事業を実施します。</li> <li>◆「COOL CHOICE宣言」や「ゼロカーボンシティ宣言」を契機に、魚津市全体で、温室効果ガス削減に取り組むこととし、市民や事業者への周知・啓発に努めます。</li> <li>◆「グリーン購入調達方針」に基づき環境配慮物品等の購入に努めていくとともに、引き続き、県・市町村統一ノーマイカー運動に参加します。</li> <li>◆グリーンカーテン設置事業について、学校・保育園・認定こども園・幼稚園、公共施設等で実施し、引き続き地球温暖化防止への普及・啓発に努めます。併せて、グリーンカーテンコンテスト(家庭・事業所・学校・保育園・認定こども園・幼稚園各部門)を実施します。</li> <li>◆魚津市役所急速充電器が老朽化し、故障が絶えないので、利用者の利便性を維持するため、機器を更新します。現在無料となっている利用者負担についても、他自治体等や市内に設置された充電器の状況を勘案し有料化とします。</li> <li>◆引き続き、安全・安心に利用できる鉄道環境の整備及び魅力・快適性アップのための各種対策等への支援を行うことにより、利用者数の維持に努めます。</li> </ul> <p><b>【②廃棄物の適正処理・4R活動の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみの減量化を今以上に推進するためにも「食品ロス」に関して、環境保健衛生協会を中心に周知・啓発に努めます。また、家庭で余った食品などを福祉団体などに寄付する「フードドライブ」の取組を環境フェスティバルにおいて引き続き実施します。</li> <li>◆分別リサイクル率の向上(資源物収集量の増)のため、地区資源物ステーションにおける古紙回収について、引き続きモデル実験収集を行い、各地区の意向等も考慮して本格実施できるよう準備を進めます。</li> <li>◆富山湾沿岸の海洋ごみの約8割が河川から流出していることから、清掃活動に加え、河川からの流出状況を調査し、ごみを適正に処理するよう啓発活動を行います。</li> <li>◆「ごみ・資源物の分別と出し方ガイド」を全世帯に配布し、ごみの適正分別とリサイクルの推進を図ります。</li> <li>◆「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、市町村の役割とされているプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化に向け、体制を構築するための実証実験を行います。</li> </ul>			